

絆～加茂

発行・編集
社会福祉法人
川西市社会福祉協議会
加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

2020 新年のお祝い申し上げます

「地域活動の担い手」発掘に向けて



加茂小地区福祉委員会
委員長 藤田 喜志夫

新年明けましておめでとうございませう。本年もどうぞよろしくお祈り申し上げます。地域の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は、地域福祉活動にご理解、ご支援、ご協力賜わり厚く御礼申し上げます。さて、私は加茂小地区福祉委員会委員長を務めて6年経過して参りましたが、福祉事業も年々変貌しつつあります。地域住民すべてを対象とした事業は平成18年度「ひろばサロン会」・平成28年度「居場所づくりカフェ」・「憩い」・令和元年度「生活支援活動「訪問型、通所型」等推進中です。これらの事業はすべて「担い手」として、地区の民生委員児童委員（福祉委員）・地区推薦福祉委員さんが

中心で、みなさまの熱心なご尽力で各種の行事が順調に盛況のもと推進されています。従来からの継続事業も同時に進めています。が、今後は事業の見直しや選択をしながら、住み慣れた地域で、生きがいを共に創り、高め合う「地域づくり」を目指し、根付いた福祉を追求して参りたいと思えます。

地域は更に高齢化が進みますが、若い方々高齢者迄、短時間ボランティアに参加頂き地域を元気に致しましょう。ご賛同頂ける方は各担当自治会長様や地区福祉委員にご連絡下さい。

最後になりましたが、これからも温かいご支援、ご協力、ご理解賜りますようお願い申し上げますと共に、みなさまの「夢ふくらむ良い年」になりますよう祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

「担い手の発掘」協議体



令和元年 11月3日

障がい者と加茂小地区 GG 愛好者との
ふれあい交流 GG 大会 60名参加

「手話は出来なくてもハイタッチで絆も生まれる」



助け合い「絆生れる加茂」仲間づくり

令和元年9月スタートした援助活動2件ご紹介



①生活援助で剪定、刈り込み
ゴミ袋大 16袋処理



②趣味援助囲碁相手 参加者4
2回/月推進中 募集中(現在4名)

援助の必要な方声掛けしてください。地区福祉 ☎757-0861 藤田・758-4734 井上

コミュニティ&地区福祉委員会”互いに原点回帰”

加茂小学校区コミュニティ推進協議会
会長 尾野上 一夫

新年あけましておめでとうございます。地域皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素はコミュニティ活動の推進に多大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、地域分権制度下に於いてコミュニティは、自治会を中心に”地域課題：安全”に、地区福祉委員会は、福祉委員さんを中心に”個別課題：安心”に、必要に応じてネットワーク形成を図りながら其々の強みを発揮し課題解決に向けて、日々取り組んでいます。この原点を互いに忘れることなく年度毎 PDCA サイクルを実施し、確認していく事が「安心して暮らせる加茂づくり」に寄与すると信じています。今後とも互いに補完し合い”すみよいまちづくり”をめざして行きましょう。

コミュニティは、チャレンジ事業加算金を原資に地域情報発信強化 3年目に入ります。
”福祉情報”お待ちしております。



コラム

人のあたたかさ

加茂小地区福祉委員会
副委員長 大田 正

このところ、自分や自分にとって役の立つ人だけが良ければいい、という考えがじわじわ広がりつつある、簡単に出来ることはあるだろう、エレベーターの「開く」ボタンを押して奥から出る人を待つようなそんなささいな行動でも、人の心は温くなる。

自分らしく生きられる場所。居場所は場所ではなく、人そのものである。一緒にいると心地良い人、ありのままでいられる人、疲れた時安心してそばで眠っていられる人。別の言い方をすれば、寄り添うとは相手の居場所になることだ。

自分自身を幸せにする、自分を心地よくさせる事によって、自然と笑顔ができ、人を喜ばせる事が出来る。「きょうよう」(今日用を作る)と「きょういく」(用を作って今日行く)ことで、出会い、触れ合うことで心身ともに健康に繋がるのではと思っている

第一拠点「ひろばサロン会」イベント

井上 昭子

毎月第一水曜日 南花屋敷中央会館で、1時30分～3時30分迄サロン会が、開催されております。13名の福祉委員で構成されており毎回2名の当番で、当日のイベントの企画から買物、そして進行まで担当していただいております。会を進行する人、裏方のお手伝いみんなで協力して行っています。会は金太君体操で始まり季節の行事、楽しいゲーム、寸劇これまで「花咲じいさん」「あの日をもう一度、お嫁さんごっこ」クリスマス会では「ハンドベル」に挑戦しアンコールをいただきました「ティタイム」を兼ね歌声喫茶では、懐かしい歌、思い出の歌を楽しく謡っております。会場が狭く、いろいろ工夫しながら行っております、参加者は今回30数名です。参加して楽しい、又次回も参加してみようと思える様なサロン会にして行きたいです。

そして地域の若い方、新しく参加してくださる方、地域に新しい風を吹き込んでくださることを願っております。



最後の「さつま芋収穫祭」に参加して

お天気にも恵まれ各々スコップを片手 102 名もの参加者で、いざ!!さつま芋畑へ。前日の雨で少し土が重たくなっていましたが、どこからお芋が出てくるだろうと、お芋を傷つけないようにそっとスコップで掘っていく子供達の目はワクワク感でキラキラしていました。「あった、あった!!」「うわぁ大きい」とあちこちで嬉しそうな声が聞こえ大人も子供も関係なく収穫を楽しみました。早速、どんな料理にしようかと家族で相談している姿もあり、とても微笑ましく思いました。

5月の苗植えから収穫までの間、準備をし、夏の暑い中水やりも欠かさず「子供達の為に…」とお世話して下さいました福祉委員の皆様、この様な貴重な体験をさせて頂けた事、感謝致します。ありがとうございました。



最後になるのは、ちょっと残念ですね……。

ひまわり子ども会 田中 雅美



福祉委員研修会 藤井知子

令和元年 9 月 5 日、ふれあい会館にて福祉委員研修会がありました。大阪教育大学の新崎国広先生の講演で、テーマは「あなたの力が地域に役立つ」(社会的孤立をつくらない!誰もが生きるネットワークとは)です。

地域の福祉活動をしている私にとって「この活動は役立っているのかしら?」と時には不安に思うこともありますが、この新崎先生のお話は、私達の活動本来の意味を思い出し、立て直してくれるものでした。

お話しの中でいちばん印象に残っているのは「お節介のすすめ」で、お節介とは「節度のある介(なかだち)」ということで「介」には間にはいってなかだちをする人、両側から中のものを助け守るという意味があるそうです。私達福祉の活動をするものは、あまり難しく考えなくても「お節介」を心掛けつつ、みんなが安心して暮らせる地域社会を創るお手伝いをしているのだと、改めて感じさせて、もらえる講演でした。

最後に、地域共生社会創造のためには、みなさんの力が必要不可欠です!と力強く語られました。



「加茂こども園ふれあいサロン会」

“初めて参加して” 土井 初代

11月28日、幼保一体となったこども園、園児と1人暮らし高齢者等の対象のサロン会」は昨年まで鴨神社横の園の2階で行われていたので、1人で来られない方にはお誘いを控えていました。新しい園はエレベーター付きのバリアフリーで素晴らしい!

今回は参加者の最高齢の方へお誘い、但し会場迄は送迎が必要。他市に住む家族さんへ主旨を伝えると”親父は行かないだろう”後日「参加したい」の連絡で当日は車椅子で来所。玄孫子程の年の差の園児の歌や手遊びに笑顔、弁当も完食、午後の演目時、肌寒さを感じ近くの方のコートを拝借し掛けてあげる。終了時には息子さんのお迎えで”有難う”の言葉を残し退所。後日感想を伺うと的確な意見を頂く。

今後参加希望があってもそれを支える方が無ければと難しい課題が見えてきました。「お互い様」と笑顔が溢れる加茂小地区でありますように。



障がい者ふれあい交流ハイキング

手話通訳 長門

江戸時代初期に、明治時代には廃城になった尼崎城。

その後、平成30年に兵庫県尼崎市のシンボルとして建てられました。

いざ！ 尼崎城へ！！

11月2日(土)川西能勢口からバスに乗り、尼崎の地へ。当日はお城の周辺でイベントがあり、食べ物・小物の販売、乗り物体験などあり、たくさんの方で賑わっていました。

すごいぞ！ 尼崎城！！

城内にはCGやVRを使った映像や子どもも楽しめるゲームがあり、展示も尼崎城はもちろんのこと、日本全国のお城の手拭いが壁一面に展示されていました。思わず「欲しい」と言ってしまったほどです。他にも、着物や忍者の衣装を着て記念撮影ができるコーナーもあり江戸時代を満喫した後は、お城をバックに集合写真を撮りました。聞こえない方が日頃から地域の方とお付き合いをすることは、とても大事です。近頃は、ご近所付き合いが希薄になっています。聞こえないということは、圧倒的に情報量が少なくなります。日常生活の中で、困った時や災害がおこった時は、家族の次に頼れるのはご近所です。

ハイキングや外レクを通して、皆さんの交流がますます深まることは、素晴らしいなあと一緒に参加させていただき感じました。



カフェ「憩い」



三浦 幸子

カフェ「憩い」も開設以来三年半を経過し地域に徐々に浸透し定着して来た感があります。お客様はほぼ同じような方が来てくれて常連の方が多いように思いますが、時間の経つのも忘れそうに談笑されている光景を見て私達スタッフも、楽しく嬉しくやがいを感じます。もっともっと色々な多くの方に来ていただきたいと思いますが、このカフェは営業ではなく居場所が目的のカフェですので基本的には来たい方が来たい時に来ていただければいいのかなとも思います。現にここに来たらホッとして何でも遠慮なく話せて、楽しく心のリフレッシュが出来ると言って下さる方もおられます。今後益々そんな方が増えてくださることを願い今年もスタッフ一同張り切って頑張ります。

是非是非コーヒーを飲みにお越しくださいませ、心からお待ち申し上げます。

**2020年を迎えて**

川西市社会福祉協議会 西本 裕子

2020年と言えば東京オリンピックを思い浮かべる方が大多数だと思いますが、阪神大震災から25年の節目の年でもあります。大震災ではここ加茂小地区でも多くの方が被災し辛い経験をされました。

一方で大震災を契機に住民同士の助け合いの大切さが見直され、この年は「ボランティア元年」と言われています。あれから25年、昨年に発生した各地の災害では全国からのボランティアが活躍しました。今年の東京オリンピックでも多くのボランティアが開催を支えることでしょう。

どんなに小さなことでも、自分や家族以外の“みんなのために”行う活動はボランティア活動です。みんなのことを思い、共に支え合い、共に生きることが自分の住む街を豊かにし、自分の心もまた豊かにしてくれます。

2020年を皆さんにとってのボランティア元年にしませんか？ ご相談は社協まで！